

参考様式①

月	4	5	6	7	3	
育ってほしい児童の姿	<p>広がる言葉</p> <p>入学当初の児童の姿 ○興味・関心のあることに夢中になる。 ○精一杯張り切っている。 ○期待と不安が表裏一体 ・初めてのことだらけ ・登下校・環境 ・授業(学習)・友達 ・先生・上級生 ○時間の感覚が弱い。 ○決められた場所で整理することが苦手である。 ○自分の思いを言葉で表すことが難しい。</p>	<p>受け止める言葉</p> <p>・登校班で登校できる。 ・あいさつができる。 ・地域別に分かれて学年下校できる。 ・元氣よく、あいさつができる。</p> <p>・家の人と一緒に次の日の準備をすることができる。 ・新しい友達の名前が言える。 ・1日の学校の流れを大体理解する。(チャイム・休憩・給食・掃除等)</p> <p>・1人で次の日の準備ができる。(家の方の確認など個に応じて家庭と連携をとる) ・休憩時間に新しい友達と一緒に遊ぶことができる。 ・学校のきまりを守ろうとすることができる。(チャイム・休憩・給食・掃除等) ・給食準備は、配る仕事を手伝うことができる。 ・当番の仕事を進んですることができる。</p> <p>・チャイムの合図を守ろうとしている。 ・次の時間の道具を間違えずに準備できる。(教科書を机に出して休憩) ・授業が楽しいという思いをもつことができる。</p> <p>・授業の振り返りを書くなど、ノートを使って勉強できるようになる。 ・授業が「楽しい」「もっとやってみたい」という思いをもつことができる。</p>	<p>・1人で次の日の準備ができる。(家の方の確認など個に応じて家庭と連携をとる) ・休憩時間に新しい友達と一緒に遊ぶことができる。 ・学校のきまりを守ろうとすることができる。(チャイム・休憩・給食・掃除等) ・給食準備は、配る仕事を手伝うことができる。 ・当番の仕事を進んですることができる。</p> <p>・1時間(45分間)単位での授業に取り組むことができる。 ・自分の考えを友達に伝えることができる。(ペア・グループ・全体に)</p>	<p>・毎朝、連絡帳を書いて宿題を提出するなど、決められたことを遅れず忘れずすることができる。 ・友達とトラブルがあっても、自分たちで解決しようとしている。 ・トイレのスリッパを揃える等みんなの事を考えた行動ができる。 ・児童会目標を意識して生活できる。 ・給食準備は、自分たちで時間内に準備できる。 ・係の仕事を、責任をもってすることができる。</p>	<p>主体的に自己を発揮しながら学びに向かう</p> <p>期待する児童の姿 ○自分の思いを言葉で表現することができる。協表 ○自分や友達の頑張りや良いところを言うことができる。協表 ○自ら課題をもって学習に取り組むことができる。目 綱</p>		
大単元名	<p>どこにあるの? ありがとう</p> <p>生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の充実</p> <p>学習名「友だちと仲良くなろう」「学校と仲良くなろう」(13H)協表</p> <p>国語「どうぞよろしく」(3H)表 図工「どんどん書くのが楽しいな」(2H)目 算数「数や形で楽しく」(3H)表 音楽「歌って踊って仲良くなろう」(4H)協表 国語「なんて言おうかな」(2H)「こんなもの見つけたよ」(2H)表 図工「砂や土と仲良し」(2H)目 学級活動「初めての小学校」(1H)「小学校のきまり」(1H)「楽しい給食」(1H)目</p>	<p>だれか〜してくれる? いいよ</p> <p>すごいね。</p> <p>どうやってつくったの?</p>	<p>1年生年間指導計画に基づく学習活動の実施 (合科的・関連的な学習活動を含む)カリキュラムマップ参考</p>				
環境構成(人・もの・こと等)	<p>○1時間単位の工夫 ・1時間を45分単位とせず、10~15分単位で教科や活動を変える。 例えば 国「どうぞよろしく」自己紹介カードを書く。自表協 音「歌って踊って仲良くなろう」童謡を歌いながら教室を回る。表協 国線なぞりやひらがなの学習をする。綱 国「どうぞよろしく」自己紹介の言葉を使って友達と挨拶を交わす。自表協</p> <p>○授業形態の工夫 ・座学より、動きのある展開を意図的に仕組む。手遊びや歌・簡単なゲーム遊びを間に入れる。緊張をとき安心して授業を楽しめる雰囲気をつくる。 ・ペア・グループ・一斉など、学習形態も意図的に変化を付け、いろいろな友達と学びの関わりができるようにする。</p> <p>○学校生活に慣れる ・毎朝の支度のルーティーンをつくり、黒板に視覚的に分かるよう貼っておく。 ・朝の準備後からスタートカリキュラムの時間を使って、折り紙や剣玉、あやとり、読書、自由帳等、自分の好きな事をして、楽しむ時間・環境を設定する。また、1時間目に朝の会を行うことで、園所と近い、ゆったりとした1日のスタートを迎えられるようにする。(健康観察は、8時半までに行う。)また、トイレや手洗い場を飾りつけし、安心して利用できる環境を整える。 ・学校でのきまり ①安心して安全に過ごすためのきまり②みんなが気持ちよく過ごすためのきまり ③自分もみんなも楽しく過ごすためのきまり</p>	<p>どれくらい〜?どんな〜? 形?大きさ?など</p>	<p>○1単元単位の工夫 生活科を中心に合科を組む。 例えば 生「学校と仲良くなろう」自目協表 国「なんて言おうかな」けがをした時に保健室に行って何と言えばよいかを考える。協表 図「砂や土と仲良し」砂場で友達と造形遊びを楽しむ。自協表 特「小学校のきまり」学校のきまりについて考える。目 ※原則1時間45分単位の授業を行う。児童の様子を見ながら、早めに終わったり手遊びや歌を歌ったりして楽しい時間をつくる。授業形態も引き続き工夫する。</p> <p>○学校生活に慣れる。</p> <p>○係の仕事を、責任をもって行う。</p>	<p>○1時間単位の工夫 ・1時間を45分単位にした授業を行う。学習の課題やめあてを明確にし、授業の終わりには学びの振り返りをアウトプットする(発言やノートによって)スタイルを子どもと一緒に創る。</p> <p>○主体的な学びに向けて ・授業形態の工夫 児童に選べるように、いくつか選択肢を設ける。 ・動作化・発表会・劇化・具体物を操作する活動を仕組む。 ・カリキュラムマップを参考に、合科的・関連的な活動を意識的に取り入れる。</p> <p>○係の仕事 ・給食準備…教師の人数を減らし、自分達で準備することが増えることを知らせ、教師も、1年生が準備できる力がつくような支援の仕方を考える。 ・一人一役…特活「1学期を振り返って」で自分の当番の仕事について振り返り、1学期が終わるまでにもっとよい当番活動ができるような工夫を考えられるように促す。</p>			
との連携	<p>○4月のスタートタイムにて、幼保の先生方に読み聞かせをしていただく。 ○4~5月頃、園所の先生方に小学校の授業参観をしていただく。入学後の様子等の連携を行い、園所での支援方法やその時の保護者の様子等も確認する。若しくは、授業研究において、連携を取り、小学校の授業参観をお願いする。 ○2月末に、園所と次年度へ向けて連携を取る。特に配慮のいる児童に対しては具体的な支援方法も聞いておく。また、2・3月に園所の参観をし、実態把握を行う。 ○年数回予定されている、幼保小連絡会議を通して、参観や実践交流等を行う。(7月すばる幼稚園参観、8月駅家西保育所参観・保育体験等)</p>	<p>○駅家西保育所:1学期に生活科「おもしろい遊びがいっぱい(シャボン玉)」・図画工作科「砂や土と仲良し」にて、小学校・保育所に分かれ、長児と交流授業を行う。 ○10月の学習発表会のリハーサルに駅家西保育所の年長児を招待し、1年生の発表を鑑賞する。 ○駅家西保育所:11月の避難訓練(地震・水害)に共同実施する。 ○駅家西保育所:11・12月に生活科「おいでよ秋のテーマパーク」で、保育所の年長組を招待する。 ○2月末、年長組の交流会(新1年生を迎える会)や連絡会を行う。</p>					
連携組織	<p>○放課後児童クラブ ○放課後等デイサービス ○通級教室等、児童が関わる関係機関と連携を取る。(入学後2カ月以内)○個別の指導計画・個別の支援計画作成 ○スクールカウンセラーに、気になる児童について支援の具体策を相談する。</p>						
の連携	<p>○学年通信を通して学校の様子や連絡事項を詳細に伝える。細かいことでも、頑張っていることを中心に連絡帳などを通して伝える。 ○個人懇談で、保護者の思いや願いを聞き、教育活動に活かす。学校での様子を伝え、家庭と連携をとり、取り組みたいことを具体化する。常に家庭と連携をとりながら、個に応じた手立てをとる。</p>						